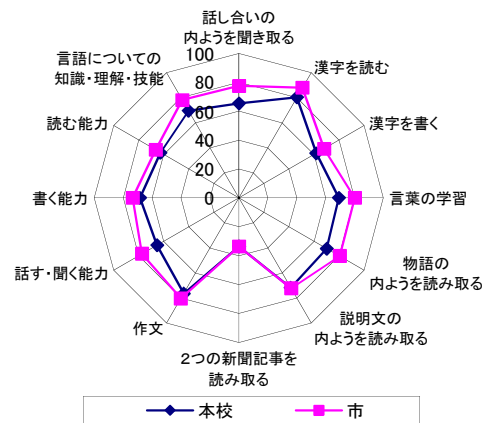


宇都宮市立海道小学校 第5学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞き取る	65.4	77.4
	漢字を読む	80.3	87.9
	漢字を書く	61.8	68.1
	言葉の学習	69.1	80.2
	物語の内ようを読み取る	70.2	80.6
	説明文の内ようを読み取る	71.7	72.3
	2つの新聞記事を読み取る	33.6	33.5
	作文	76.3	80.3
観点別	話す・聞く能力	65.4	77.4
	書く能力	68.4	73.4
	読む能力	62.7	66.4
	言語についての知識・理解・技能	69.6	78.2



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	・市の正答率に比べ本校の正答率は、12パーセントほど下回った。特に司会者の工夫の問題でのつまづきが市の正答率を22パーセントと大きく下回った。	・授業にグループ学習を取り入れ、司会者の話し合いの進め方や進めるにあたっての注意点等を指導していく。また、普段の授業の中で教師の話や友達の意見を聞き取れることを授業者が念頭において授業を行う。
漢字	・漢字の読み書きの内容では、市の正答率に比べ本校の正答率は、約7パーセントほど下回った。詳しくその内容を見ると送り仮名の付く漢字の読みと漢字の書き取りを苦手としている傾向が見られた。	・漢字を学習するに際し、書き順や読み方を指導をていねいに行う。 ・作文やノート、プリント等の提出物で漢字の間違えをチェックし正しく書けるようにする。 ・文字をていねいに書く習慣を身に付けさせる。 ・学んだ漢字を繰り返しテストしていくことで定着させる。
言葉の学習	・市の正答率に比べ本校の正答率は、約11パーセントほど下回った。下回った原因は、3・4年生で習ったことわざの問題と文脈に沿って正しく漢字を使う問題でのつまづきにあった。	・ことわざに関しては、司書教諭と連携して巡回図書等で教室にことわざに関する本を置いて、児童にふれさせる機会を増やす。 ・授業で漢字や言葉の意味を十分に指導すると共に同音異義語に対する指導を注意して行い違いを認識させる。。
物語の内ようを読み取る	・市の正答率に比べ本校の正答率は、約10パーセントほど下回った。その原因は、登場人物の様子や心情の変化を文章から読み取れないところにあった。	・授業の中で音読を多く取り入れることにより、登場人物の心情やその変化、場面の様子を読み取らせる。 ・朝の学習で行っている読書の時間を充実させ、文章に対する抵抗感をなくしていく。 ・問題をしっかりと読み取ってから回答する習慣を普段の授業の中で培う。
説明文の内ようを読み取る	・市の正答率と本校の正答率は、ほとんど同じだった。文と文のつながりに関する問題の正答率が約95パーセントと市の正答率を大きく上回ったが、文章の内容を的確に捉える問題につまづきが見られた。	・時間をかけてじっくりと文章を読み取る習慣を授業の中で身に付けさせる。 ・段落の要点、段落と段落の関係、要旨の読み取りを重視して授業を行う。
2つの新聞記事を読み取る	・市の正答率と本校の正答率は、ほとんど同じだった。二つの文章の共通点の読み取りでは上回ったが、相違点の読み取りで下回った。	・自分の考えを文章に書き表すことを普段の授業の中で培う。 ・見方の違いで同じ事象でも表現の仕方がちがってくることを生活の中で指導する。
作文	・市の正答率に比べ本校の正答率は、4パーセント下回った。自分の意見と感想を区別して書くことは満足する正答率であった。指定された長さで文章を書くこと、二つの段落に分けて書くことにつまづきが見られた。	・文字数や段落の数等、条件をつけて作文を書かせる指導を行う。